

登山鉄道反対署名7万筆

国外からも8日に県へ提出

富士吉田市の北口本宮富士浅間神社や山小屋関係者らでつくる「富士山登山鉄道に反対する会」は31日、書面やオンラインラインで集めた反対署名(30日現在)が計7万10筆に上り、11月8日に県へ提出すると明らかにした。

富士吉田市・ハイランドリゾートホテル&スパで開かれた「富士山登山鉄道構想に反

対するフォーラム」の後、関係者が取材に明らかにした。署名は全47都道府県や国外からも集まったという。計画を推進する県は13日に県内の反対団体を集めて意見聴取する予定で、「反対する会」は会合に先立って署名を提出する方針。

フォーラムは「反対する会」のほか、県内で構想反対を訴

えて活動している3団体にも声をかけて初めて開催。各団体関係者や市民ら約500人が出席した。世界遺産の来訪者管理策に詳しい都留文科大の渡辺豊博元教授が「富士山の観光と環境を考える」と題して講演するなどした。

「反対する会」は環境保全推進の要望書を国に提出する方針。代表を務める同神社の上文司厚宮司は「富士山登山鉄道反対の輪がフォーラムを経て、さらに広がっていくといい」と話した。(赤池悠)